

令和2年7月29日

一般財団法人 茨城県科学技術振興財団

電子メールの誤送信について（お詫び）

この度、当財団の職員が、当財団が共催するオンラインセミナー参加予定者の方々にセミナーのご案内メールを送信した際、本来であればメールアドレスを「BCC」として送信すべきところを、誤って「TO」として送信してしまいました。

関係者の皆様方に多大なるご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

また、当財団では、今回の事案に至ったことを深く反省し、職員に対し、個人情報の取扱いについて、あらためて周知・徹底を図り、再発防止に努めてまいります。

1 事案概要

当財団の職員が「第142回つくば科学・技術産業イニシアティブ」オンラインセミナー（つくば科学・技術産業イニシアティブと当財団の共催。7月28日(火)開催。）参加予定者の方々に、セミナーのご案内に関するメールを送信した際、本来メールアドレスを「BCC」として送信すべきところを、誤って「TO」として送信してしまいました。

（1）発生日

令和2年7月22日（水）18：30

（2）流出した個人情報

オンラインセミナー参加予定者のメールアドレス 46件

2 経緯

・令和2年7月22日（水）18：30

当財団の職員が、オンラインセミナー参加予定者に対し、同セミナーのご案内に関するメールを送信。

その際、メールアドレスを「BCC」として送信すべきところを、誤って「TO」として送信。

・同日 送信直後

当財団の他の職員が誤送信に気づき、18：37に全ての送信先に対し、メールにてお詫びと誤送信メールの削除を依頼。

・令和2年7月28日（火）18：00

オンラインセミナーの開始冒頭に、再度のお詫びと誤送信メール削除の確認を行い、参加者から了解。

3 再発防止策

- ・今回の事案を全職員に口頭で伝達し、電子メール送信時における注意喚起をあらためて周知。
- ・一斉送信については「BCC」による送信を原則とし、更に複数の職員によりチェックする体制の確立。